

令和6年3月25日

報道機関各位



新潟県小千谷市役所
小千谷市城内2丁目7番5号

地域連携のための内部障害リハビリテーション学講座

協定締結式を行います

令和6年4月1日に新潟大学に寄附講座「地域連携のための内部障害リハビリテーション学講座」が開設されることから、国立大学法人新潟大学と小千谷市との間で協定締結式を行います。

この事業は、心臓リハビリテーションを含む内部障害*リハビリテーションの体制と多職種チームを整備し、地域の病院と病院の連携の強化、医療と介護の連携により住民の疾病管理や健康寿命の延伸を図ることを目的に、小千谷総合病院をフィールドとして研究を行うものです。

*内部障害：内臓（心臓など）に何らかの障害があること。超高齢化社会において、心不全患者数が急増するなか、包括的心臓リハビリテーションの重要性が増しています。

- ◆日時／3月26日（火）午後4時30分～5時
- ◆会場／小千谷市役所4階 大会議室（城内2-7-5）
- ◆出席者／新潟大学
 - うしき たつお 牛木 辰男 学長
 - さとう のぼる 佐藤 昇 医学部長
 - いのまた たかゆき 猪又 孝元 循環器内科学分野 教授
 - おぼた ひろあき 小幡 裕明 特任准教授（担当教員）
 - かやもり ひろみ 萱森 裕美 特任助教（担当教員）
- 小千谷市
 - みやざき えつお 宮崎 悦男 市長
 - やまぐち よしのぶ 山口 良信 副市長
- 厚生連小千谷総合病院
 - やなぎ まさひこ 柳 雅彦 病院長
 - おちあい ゆきえ 落合 幸江 内科部長
- ◆内容／ 午後4時30分～ 開式
 - 協定書概要説明
 - 協定書署名

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市健康・子育て応援課 担当／長谷川・平澤

TEL：0258-83-3640 FAX：0258-82-8964 E-mail：kenko@city.ojiya.niigata.jp

令和6年3月25日

報道機関各位



新潟県小千谷市役所
小千谷市城内2丁目7番5号

「小千谷こいこいかるた」が完成しました

小千谷市が民間団体とともに組織している「小千谷地域情報番組放送推進協議会」では、FM新潟のラジオ番組「おちやBravo!」の「おちや宝さがし」というコーナーで、1年にわたり小千谷の隠れた魅力を市民が自慢する様子をお伝えしてきました。市内外に改めて小千谷の魅力を再認識してもらうため、それらの情報をもとに「小千谷こいこいかるた」を作成しました。

■特徴

市内を46の地域に分け、町内の人など限られた人しか知らないような「小千谷の隠れた魅力や宝」を題材とし、それぞれの地域から集めました。すでに有名な「錦鯉」や「牛の角突き」などは、あまり知られていない情報を交えて紹介しています。

句は小千谷市が監修し、絵札のイラストは小千谷西高等学校のみなさんに協力して制作いただきました。

市民にも知られていない内容が詰まっており、新しい発見をしながら楽しめるかるたになっています。

■制作部数／2,000部

■配布／5月1日（水）開催の「市制施行70周年記念式典」に合わせ、記念品として市内の小学生全員（約1,500人）に配布

◇その他配布先

- ・市内小・中学校、特別支援学校の各クラス
- ・公共施設（ホントカ。や市民会館など）

■今後の活用／令和6年度以降、さらに幅広い方に楽しんでいただけるような企画を検討

例. 四ツ子地域



※小千谷地域情報番組放送推進協議会とは、小千谷市、(一財)小千谷市産業開発センター、小千谷観光協会、小千谷商工会議所で組織し、小千谷地域の魅力をラジオ放送等により発信し地域内外の交流人口を増やすとともに、地域活性化を図ることを目的とする協議会です。

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市企画政策課秘書広報係 担当／小林・平澤

TEL：0258-83-3507 FAX：0258-83-2789 E-mail：plan-kh@city.ojiya.niigata.jp

令和6年3月25日

報道機関各位



新潟県小千谷市役所
小千谷市城内2丁目7番5号

小千谷市指定有形文化財（考古資料）

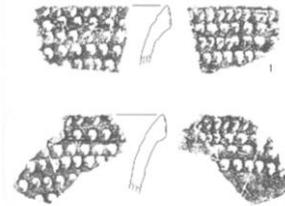
「元中子遺跡出土品」が小千谷市指定文化財になりました

小千谷市は、元中子遺跡で出土した土器・石器を市の有形文化財に指定しました。

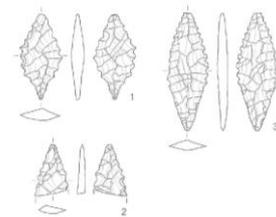
名称	元中子遺跡出土品（もとなかごいせきしゅつどひん）	46点
種別	有形文化財（考古資料）	
所在地	保管場所：城内文化財収蔵庫（城内1-13-20） 出土地：元中子遺跡（蕨生字南原・中子）	
内容	<p>【土器】36点 縄文^{げんたい}原体^{おうあつ}の押圧による施文^{せもん}（紐を押付け文様をつけたもの）</p> <p>【石器】10点 石鏃^{せきぞく}、石槍^{いしやり}、打製石斧^{せきふ}等</p> <p>縄文時代草創期（およそ紀元前11,000年）</p>	
出土	平成20年度 信濃川右岸東小千谷地区河川改修事業に伴う発掘調査 ※本遺跡から津南町にいたる地域は日本列島で土器作りが開始された頃（縄文時代草創期）の遺跡が集中することで知られる。	
指定理由	<p>①新潟県内では稀少な縄文時代草創期の土器と石器が組み合わさって出土したものであるため。</p> <p>②土器は、付着した炭化物について放射性炭素年代測定を行い、約13,000年前ということが明瞭であるため。</p> <p>③石器は、狩猟が大型動物→小型動物に変化したことが分かる貴重な資料であるため。</p> <p>④小千谷市が所有・管理しており、適切な保存と積極的な公開・活用される機会を通じ、文化財として広く普及される見込みがあるため。</p>	



土器 写真



土器 4-5cmのかけら



石器 大きいもので15cm

令和6年3月25日

報道機関各位



新潟県小千谷市役所
小千谷市城内2丁目7番5号

企業連携型地域おこし協力隊が着任

小千谷市では、民間企業との連携により地域外の人材を積極的に活用し、地域産業の振興と地域活性化を促進するため、令和4年度より企業連携型地域おこし協力隊制度を導入しています。

このたび、下記のとおり新たに企業連携型地域おこし協力隊が着任しました。

■企業連携型地域おこし協力隊

- ◆氏名 二瓶 美紀（にへい みき）
- ◆着任日 1月12日（最長3年間）
- ◆受入企業 株式会社アグリたかの
- ◆活動内容
 - ・地ビール製造を通じた地域活性化
 - ・情報ツール等による地域の魅力発信

<企業連携型地域おこし協力隊について>

3月25日現在、小千谷市で活動する企業連携型地域おこし協力隊は2名です。

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市商工振興課企業立地係 担当／大矢・新野
TEL：0258-83-3556 FAX：0258-83-2789 E-mail：syoko@city.ojiya.niigata.jp

報道機関各位



新潟県小千谷市役所

小千谷市城内2丁目7番5号

残雪の山なみ・ブナの新緑・野鳥のさえずり～河岸段丘を歩いてみよう

「第37回信濃川河岸段丘ウォーク」を開催

信濃川の河岸段丘を眺め、春の自然を楽しみながら歩くウォーキング大会を開催します。

◆期 日 4月29日（昭和の日）

◆参加資格 どなたでも参加できます。

※小学3年生以下の方は、保護者または責任のある引率者同伴

◆コース・出発時間・参加料・定員など

コース 距離	定員 (申込先着順)	出発場所	出発時刻	ゴール 会場	参加料 (未就学児無料)
津南 50km	170人	JR津南駅前 町営駐車場	午前6時30分	小千谷市 サンプラザ	大人 2,100円 小・中学生 1,600円
川西 25km	230人	十日町市千手 中央コミュニティセンター	午前9時～ 10時※		大人 1,600円 小・中学生 1,100円
津南 23km	150人	JR津南駅前 町営駐車場	午前9時	十日町市 キナーレ	大人 1,100円 小・中学生 600円
中里 15km	300人	十日町市 中里体育館	午前9時～ 10時※		
小千谷 12km	1,650人	小千谷市 総合体育館	午前9時30分 ～10時30分※	小千谷市 サンプラザ	

※川西25km、中里15km、小千谷12kmコースは、受付後随時出発

◆申込方法 要項添付の申込書に必要事項を記入の上、窓口・インターネット・郵便振替でお申込みください。大会当日の申込みはできません。

◆申込締切 インターネット・郵便振替/4月17日（水）

窓口/小千谷市総合体育館以外の施設：4月19日（金）

小千谷市総合体育館：4月24日（水）※各施設の閉館時間まで

◆申込窓口 信濃川河岸段丘ウォーク実行委員会事務局/▽小千谷市総合体育館
▽十日町市総合体育館▽川西公民館▽中里公民館▽津南町総合センター

◆参加特典 参加賞・大会グッズプレゼント、大会当日豚汁・ドリンクサービスなど

◆同時開催 ▽JR小千谷発電所一般公開（無料）

▽SNSフォトコンテスト/大会参加中に撮影した写真をX（旧Twitter）またはInstagramに投稿ください。受賞した方へ、地元特産品などをプレゼントします。

◆主催 信濃川河岸段丘ウォーク実行委員会

詳細は、添付の要項または大会公式ホームページをご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先/小千谷市文化スポーツ課スポーツ振興室 担当/古田島・長谷川

TEL：0258-83-0077 FAX：0258-83-0078 E-mail：bunkasports-sp@city.ojiya.niigata.jp

令和6年3月25日

報道機関各位

新潟県小千谷市役所
小千谷市城内2丁目7番5号

(株)JVC ケンウッドが市内に生産拠点を移転

音響機器、カメラ、カー用品を中心とした電機メーカーの(株)JVC ケンウッド（本社：神奈川県）が、パワー半導体を製造している(株)JS ファンダリの工場（千谷地区）の一部に生産拠点を移転することが発表されましたので報告いたします。

【概要】

移転日	4月1日（月）
人員体制	20～30名で立ち上げ
生産内容	主にプロジェクター用映像デバイス
生産量	徐々に稼働させ、2025年以降、増産見込

【小千谷市の対応】

■雇用対策

新規雇用者採用への支援

■固定資産税減免

本件に関するお問い合わせ先／

- ・(株)JVC ケンウッド企業コミュニケーション部 担当／阿久津 TEL：045-444-5232 FAX：045-444-5319
- ・小千谷市企画政策課 担当／岡元（美） TEL：0258-83-3507 FAX：0258-83-2789